

⚠️【遠赤外線電気ヒーター】ご使用上の注意 >>>

- 停電発生時は、本機の電源スイッチをONにしたらそのまま放置しないでください。電気が回復したとき発熱も開始され、思わぬ事故の原因となり大変危険です。
- 可燃性ガス・揮発性の液体・危険物の側や保管場所では絶対使用しないでください。爆発や火災事故の原因となります。
- スプレー缶等を本体の近くに置かないでください。爆発や火災事故の原因となります。
- 燃えやすいものを本体の近くに置いたり、燃えやすいものの側で使用しないでください。火災事故の原因となります。
- ヒーターの前面1m以内に反射物(鏡・アルミ板・ガラス製品等)や障害物を置いたり、壁面に向けたりしないでください。火災や変形の原因となります。
- 長時間皮膚の同じ場所に照射しないでください。低温ヤケドを負う危険性があります。皮膚が弱い方・お子様・お年寄り・眠気を誘う薬(カゼ薬・導眠剤・睡眠薬等)を服用している方・疲労の激しい方・深酒をした方等は特にご注意ください。
- 常に人がいる場所でご使用ください。離れるときには必ず電源をOFFにしてください。
- 湿度が80%以上ある場所(サウナ・浴室・脱衣所等)では使用しないでください。本体が異常加熱したり、正常な動作をしない場合があります。
- 本機は屋内用です。水のかかる場所や雨水のかかる場所、屋外では使用しないでください。感電・漏電事故や絶縁不良等の原因となります。
- 食品・美術工芸品・毛皮・皮革・動植物等の乾燥や保温等の特殊な用途には使用しないでください。品質低下等の原因となります。
- 濡れた手で操作しないでください。感電・漏電事故の原因となります。
- 至近距離で顔に照射しないでください。ヤケドやケガ、目を傷める原因となります。

⚠️【電気ファンヒーター】ご使用上の注意 >>>

- ⚠️ **警告**
- アース(接地)工事は必ず行ってください。工事は電気工事士の有資格者に依頼してください。アース線はガス管・水道管・電話のアース線・避雷針等には接続しないでください。爆発や火災、事故の原因となります。
- 分解・改造は絶対にしないでください。故障・火災の原因になり大変危険です。
- 停電発生時は、本機の電源スイッチをONにしたらそのまま放置しないでください。電気が回復したとき発熱も開始され、思わぬ事故の原因となり大変危険です。
- 可燃性ガス・揮発性の液体・危険物の側や保管場所では絶対使用しないでください。爆発や火災、事故の原因となります。
- スプレー缶等を本体の近くに置かないでください。爆発や火災、事故の原因となります。
- 燃えやすいものを本体の近くに置いたり、燃えやすいものの側で使用しないでください。火災、事故の原因となります。
- 本機は床置専用です。その他の方法で使用しないでください。火災、事故の原因となります。
- 本機は水平で凹凸の無い安定した場所に設置してください。
- 機械の調子が悪かったり異常に気がついたときは、直ちに使用を中止し、電源を切り、お買い求めの販売店にご相談ください。
- 常に人がいる場所でご使用ください。離れるときには必ず電源をOFFにしてください。

- ⚠️ **注意**
- 周辺温度-10℃~20℃の範囲外では使用しないでください。本体が異常加熱したり、正常な動作をしない場合があります。
- 本機は屋内用です。水のかかる場所や雨水のかかる場所、屋外では使用しないでください。感電・漏電事故や絶縁不良等の原因となります。
- 濡れた手で操作しないでください。感電・漏電事故の原因となります。
- 使用中、送風口やガードには手等の身体の一部を近づけないでください。ヤケドやケガの原因となります。
- 本体背面と壁との間は50cm以上離してご使用ください。火災や変形・変色等の原因となります。
- 送風口を塞がないでください。故障や事故の原因となり大変危険です。
- 衣類などの乾燥用としては使用しないでください。火災の原因となります。
- 長時間同じ部位を暖めないでください。比較的低い温度でも長時間皮膚の同じ部位を暖めていると、低温ヤケドの恐れがあります。

⚠️【自然対流式電気ヒーター】ご使用上の注意 >>>

- ⚠️ **警告**
- 燃えやすいものを本体の近くに置いたり、燃えやすいものの側で使用しないでください。火災事故の原因となります。
- カーテンの近くや電化製品の近く、押し入れや机の下等では使用しないでください。火災事故の原因となります。
- 本機は水平で凹凸の無い安定した場所に設置してください。
- 本体表面・温熱口に物を貼ったり、塞いだりしないでください。火災や事故の原因となります。

⚠️【注意】

- 本機は屋内用です。水のかかる場所や雨水のかかる場所、屋外では使用しないでください。感電・漏電事故や絶縁不良等の原因となります。
- 使用中、温熱口やガードには手等の身体の一部を近づけないでください。ヤケドやケガの原因となります。
- 使用中や使用直後には本体表面・温熱口が熱くなっていますので、触らないでください。ヤケドやケガの原因となります。本体の移動はスイッチをOFFにして本体が冷えてから行ってください。
- 温熱口・本体底面の通気口を塞がないでください。空気対流ができず高温になり、火災や事故等の原因となります。
- 温熱口・本体底面の通気口は定期的に清掃してください。ホコリやゴミ等が付着したまま使用を続けると、火災や事故等の原因となります。

⚠️【工場扇・大型風洞扇】ご使用上の注意 >>>

- 長年ご使用の工場扇では、モーター、コード、コンデンサー等の電気部品の経年劣化による発煙、発火の恐れがあります。ご使用前に必ずご確認ください。次のような症状がある場合には、すぐに使用を中止し、差し込みプラグをコンセントから抜いてください。
 - ・ スwitchを入れても羽根が回らない
 - ・ 羽根が回っても異常に回転が遅かったり不規則
 - ・ 回転するときに異常な音がする
 - ・ モーター部分が異常に熱くなる、コゲくさい臭いがする
- ご使用になる前に、羽根やガードはしっかり取り付けられているか、ガードが変形して羽根に接触していないかチェックしてください。
- 電源コードが折れ曲がったり、破損していないか、時々チェックしてください。
- 運転中はガードの中へ手や物などを絶対に入れないでください。特に小さなお子様はご注意ください。
- ご使用にならないときは差し込みプラグをコンセントから抜いてください。
- 定期的な点検を心がけてください。
- 長期間コンセントに差し込みプラグを差し込んだままにすると、トラッキング現象*を起こして火災の原因となります。また絶縁劣化による感電事故や漏電火災が発生する危険があります。
(※トラッキング現象:差し込みプラグとコンセントの隙間にたまったホコリが湿気を帯びると、火花が出ます。これを長い時間放っておくと、プラグの刃と刃の間に電気が流れて発熱し、発火する現象のこと。)
- 改造は火災・感電・ケガの恐れがありますので、絶対にしないでください。
- 分解・修理は火災・感電・ケガの恐れがありますので、修理技術者以外の人は修理をしないでください。修理はお買い上げの販売店にご連絡ください。
- ご使用中に、回転停止・異常音・振動・異臭等が発生した時は、直ちに使用をやめスイッチを切り、差し込みプラグをコンセントから抜いてください。
- 運転中は本機に近づかず、ネクタイ・手袋・カーテン等が巻き込まれないように注意してください。特に小さなお子様はご注意ください。
- 清掃・点検の時はスイッチを切り、差し込みプラグをコンセントから抜いてください。濡れた手でコンセントの抜き差しは感電の恐れがありますのでしないでください。
- 差し込みプラグの刃および、刃の取付面に付着したほこりは、火災の恐れとなりますので、きれいに拭き取ってください。
- 製品には、水や、洗剤等をかけたり、吹き付けたりすると漏電による、火災、感電の恐れがありますのでしないでください。

⚠️【エアモーター工場扇】ご使用上の注意 >>>

- 水分が多く含まれる圧縮空気は発錆、作動不良の原因となりますので配管ラインにエアドライヤーを設置してください。
- 清浄な圧縮空気を使用してください。化学薬品や腐食性ガスを含む場合、破損、作動不良の原因となります。
- 市販のレギュレーターで圧力を調整し使用空気圧は0.6MPa以下でご使用ください。
- 傷のあるエアホースや破裂の恐れのあるエアホースは危険ですのでご使用にならないでください。
- 付属のエアフィルター・プレクターを必ず取り付けられた状態でご使用ください。

⚠️【シーリングファン・攪拌送風機】ご使用上の注意 >>>

- 設置する際は、十分な強度を確保し、確実に取り付けてください。(床面から羽根までの高さは3m以上必要です。攪拌送風機は2.4m以上。)取り付けに不備があると、落下によるケガの原因となります。
- 配線工事は、必ず電気工事士の有資格者、認定を受けた電気工事店に依頼し、電気設備技術基準や内線規定に従って、確実に行ってください。誤った配線工事は、漏電、感電、火災の原因となります。(シーリングファンのみ)
- ガスレンジや引火性のガスのある場所には設置しないでください。炎の立ち消え、引火、爆発やショートして火災、感電の原因となります。
- この製品は天井面取り付け専用です。壁面や不安定な場所、補強のない薄い場所には取り付けしないでください。落下によるケガ、故障の原因となります。
- ご使用中に、回転停止・異常音・振動・異臭等が発生した時は、直ちに使用を止めてください。火災、感電の恐れがあります。